

声かけあって
 事故を起こさない!
 起こさせない!
 目指そう
 安全・安心・楽しい
 森づくり活動を!!



「河平連山」登山道整備・枯れ松の倒木を伐倒し玉切り処理中 P4にて報告

contents

- ★11月例会案内
 11月24日(日)黄金山山頂
 2
- ★「ひろしまの緑」最新号から
 山本理事長メッセージ
 3
- ★「河平連山」例会報告：北田
 4
- ★第2回もりメイトキッズ報告
 5
 佐々木
- ★10月部会報告
 クラフト：岩田
 里山：佐藤
 6
- ★視察ツアーのお知らせ
- ★今月のひと枝：フジバカマ
 7
- ★11月・各部会の活動予定他
 8



私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆公益財団法人 SOMPO 環境財団

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、広げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
 地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
 広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
 全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

案内



11月例会 《担当：1班》



「黄金山」見晴らしを取り戻そう！

【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】との協働作業
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日時：11月24日（日）9時～15時少雨決行

※担当班のメンバー&リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会場：【黄金山山頂】

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせて
ご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物：山の道具・飲み物・名札

※準備出来る方は鎌、チェーンソーとチャプス(チェーンソー保護服)、スパイク付き地下足袋等、
安全に作業できる服装で参加してください。

※当日、地元（仁保学区社協）の皆さんが昼食を準備してください。弁当は要りません。

※会員外(地元除く)で参加される方は、参加費500円ご準備ください。

◆申込み：11月13日（水）までに各班長へ連絡。



※賛助会員その他参加希望の方は

事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

もりメイト倶楽部 Hiroshima は、2008年3月から黄金山を整備する活動に関わっています。
今回の作業は、昨年に引き続き、見晴しが望めず『ぜひ整備を手伝って欲しい』との地元からの要請
を受け、山頂付近の整備を行います。今後も、地域と共に、環境保全、眺望改善、地域の活性化につ
ながる活動を、地域貢献活動として展開していきたいと思っております。伐った後の処理にもたく
さんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。 《写真は昨年の例会から》

【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】は、大河、黄金山、仁保、楠那の4つの学区の社会福祉協議会等で構成されており、
広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し再整備するための取組を行っています。





生命の源「森林への関心」が 未来を救う!

非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長 山本恵由美



日本の森林の現状は林業不振により
森林所有者の管理意識が低下し、手入
れ不足の人工林と、薪や炭、肥料の調
達の場として利用されることで健全な
状態を維持してきた里山林も、自然か
らのエネルギーを必要としない生活の
変化から今では放置され、樹木が密生
する暗い森林へと荒廃の一途を辿って
います。森との関わりが希薄になっ
た無関心の先には土砂災害や農作物に被
害をもたらすイノシシやシカのねぐら
や不法投棄の場となり、結果として私
たちの生活に悪影響を及ぼす危険性が
あることを忘れてはならないと考えて
います。

平成6年の「平成の大渇水」は水の
大切さや供給に対する危機管理の重要
性を県民に喚起しました。森への関心
が高まった平成8年に広島市農林整備
課(当時)が始めた森林ボランティア
リーダー養成事業では30名の定員に対
して約6倍の応募がありました。平成
9年に弊会は1年間の講座を修了した
第一期生の有志によりまして、荒れた
森の再生と保全を目的に、高いレベル
の知識と林業技術を磨き、「県民の森
づくり運動の先駆的な役割を果たすた
め」設立いたしました。

活動は人財育成、地域づくりにも及
び、多岐にわたり活発に展開していま
す。メイン活動の定例会では「地域貢
献プロジェクト」と銘打ち「森のお助
け隊」として毎月、ご縁を結んだ各地
の地域団体を支援しています。そのほ
かパラエティーに富んだ活動で魅力を
発信する部会も。「里山部会」は天然
林を整備し炭焼きやシイタケ栽培など
里山文化を原体験できます。「クラフ
ト部会」では定例会と部会等の整備で
発生する伐採木の有効活用を考え、製
材や加工も行っておりまして、森づく
り活動を伝道する木工教室を運営。学
校や行政等の事業に応えています。そ
して「環境教育研究部会」では未来に
引き継ぐ取組として「こども森林ボ
ランティア養成講座もりメイトキッ
ズ」を18年間続けています。さらに自
治体や企業、他団体の要請に応じて希
少種の保護など生物多様性の観点や
SDGsを遂行する教育事業のプログ
ラムデザインから指導までを行ってい
ます。これらのノウハウは実際に森つ
くりを汗を流してきた実績の賜物によ
るもので、すべてが互いに連携してい
るのが特徴といえます。

森づくりを昇華していくために今、
切実に思うことは先駆性や継続性を期
待され、自助努力で尽力する市民活動
団体が疲弊する前に、活動場の提供な
どの支援や裾野を広げる県民参加の活
動の推進など、行政のモデルチェンジ
も急務であり、協働を続けたいと強く
思っております。また県民の皆さんに
は生命体に必要な酸素や水を育む森
は、温暖化の原因である二酸化炭素の
吸収源のほか、多面的機能が多くの恩
恵を与えてくれていることを念頭に置
いて頂き、今年の異常な暑さに向き
合って当事者意識で「私にできること
は何か」を模索する絶好の機会にして
もらえたらと願っております。



「高齢化で登山道の整備の担い手が少なくなり、地域の宝である河平連山がもりメイト倶楽部の協力で維持できる事を嬉しく思います。そのためにも、安全第一でご無理のないように」朝のミーティングにて松ヶ原自治会長より。



朝のミーティング。目的、作業内容を周知し安全を確認。

■ 今回の作業は、「登山道周辺の枯損木伐採により安全を確保する。」「展望所周辺の眺望の改善」をメインに行いました。各班 8 名の 2 班編成、A 班は枯れ松の伐倒をメインとし、洗い場付近に 5 名、馬ヶ峠の中間を 3 名が担当しました。B 班は登山道の安全確保と景観整備をメインに作業を開始しました。景観整備として天狗岩案内板から天狗岩が見渡せるように、北西斜面のコバノミツバツツジを残しながら道を切り開き、コナラやスタジイなど中高木を 5 本伐採しました。昼食後、伐採木の処理を行い、早めに下山。途中、馬ヶ峠を過ぎた登山道の頭上に倒木が掛かっており、また道の横にも枯れ松が 3 本。ロープをかけて引き倒し、いずれも邪魔にならないように道脇に移動。ふりかえりでは、予定の枯れ松の伐倒は完了しましたが、倶楽部のチェーンソーの不具合で作業に大幅に支障を来したことが、何とか個人所有のチェーンソーで対処しましたが、整備の課題と対策が急がれることを重く受け止めた次第です。

■ 今後の作業については、まだまだ、枯れ松が登山道近くに残っており、登山道の安全確保の作業が必要です。併せて、各眺望の見晴らしも確保していきたいと思います。

河平連山例会初参加の下山さんと、一般参加の^{てつたに}銚谷さんは「手ほどきを受けながら色々な作業を経験できて良かった」「また、皆さんと一緒に活動したい」との嬉しい思いが聞かれました。

■ 「河平連山・登山道整備」の例会は、当日が雨の予報で急遽翌日の 23 日(月)の秋分の日に変更。

各班のグループラインで連絡を取り合い出欠確認。大幅に参加者も減少しましたが、作業エリア、班体制を見直した異例の開催となりました。

■ 当日は、前日とは打って変わり秋晴れ！登山口への乗り合わせ車両の調整をし、作業内容周知の後、機材・道具の確認を終え、分乗して西側登山口に向かいました。



景観を整備し見晴らしがのぞめました。



今から作業開始。村上さん



指導の下でスタジイを伐採する下山さん



下山途中、枯れ松を引き倒すためロープ掛け

=第2回= もりメイトキッズ

参加：小学生6名・未就学児5名 保護者9名(7家族)
スタッフ：16名・学生ボランティア1名



◆秋は行事が重なり参加者が今一つでしたが、9月末の残暑厳しい中、どの子も元気いっぱい笑顔を見せて楽しんでくれました。第2回目は、『山歩き道を整備!』をして『さあ、みんなで探検しよう!』。

午前には山道の整備、崩れた階段を補修する作業を行い、午後から皆で整備した山道を歩きながらフィールドビンゴを行いました。

◆山道の階段づくりでは、杭打ちを高学年が行いました。最初は杭を目掛けてカケヤを振りかざす作業が難しく苦心していたようですが、徐々にコツをつかみ、上手く杭をめがけて打ち込めるようになり、楽しさが増していったようです。ただ、力がある作業だけに時々休憩を入れながら行いました。

◆低学年と未就学児は、お父さんやお母さんと一緒に森の中で除伐作業を行いました。ノコを使って木を切る作業が楽しくなり、徐々に太い木に挑戦していったようです。また、葉っぱの形や色にも興味を示し、切っている木(主に常緑樹)と残していく木(花をつける木や落葉樹など)があることを通し、見て聞いて体験しながら楽しく学んでいたようすが伺われました。

◆今回、初めて昼食の説明に料理スタッフ全員が揃い、メニューの個性あふれる紹介も心に響き、いただく参加者も説明するスタッフも楽しそうでした。

午後は、作業を行った山道を歩きながらフィールドビンゴを行いました。食べられる葉っぱ、匂いがする葉っぱ、いろんな形の葉っぱを視覚、味覚、嗅覚などの五感を使って観察。

◆また朽ちた木の中から幼虫がいてビックリしたり、鳥の鳴き声が聞こえたり、森の中での発見や驚き、楽しさを通し、自然に親しみをもち興味を持つことが何より自然を大切にすることに繋がることと改めて感じました。報告：佐々木 綾子



司会は吉村さん。自然の事がとってもよくわかったよ。



杭を打つのは力があるなあ。「せ〜の、よいしょ！」



もりの中の木を伐って歩けるようにしたよ。



ビンゴをしたよ。いろんな形の葉っぱを見つけたよ。



みんなで直した階段は、とっても歩きやすかった。のほろぞ!



10月に入り少しは秋らしくなるかと思いましたが、暑い日が続き、活動日の5日(土)と12日(土)は、秋のグリーンフェアの準備で、暑さに耐えながらの作業となり、大忙しの二日間でした。

今年の秋のグリーンフェアは、10月26(土)～11月4日(月)まで、広島市植物園で行われています。毎年、春と秋にグリーンフェアが開催されていますが、クラフト部会は、今は無い中央公園での開催時から長年にわたって参加しています。

今回は、期間中の初日26日(土)にスタッフ10人が参加、作品は、木絵・箱庭・ロボット・半割椅子・来年の干支の蛇・トラックの6作品を用意し忙しい一日でした。初参加の青木さん・沖野さんは始め緊張ぎみでしたが、ベテランのアドバイスを受け、楽しみながら、指導員としての経験を積まれたようで、11月3日(日)に広島市森林公園で行われる「森の市」の予行演習になったのではないかと思います。10月のクラフト参加者は13名。



オープン前。作業や段取りなど打ち合わせ。



多くの方が、木工クラフトを楽しんでくださいました。



10月13日(日)小川フィールドにて里山整備作業。参加者7名。

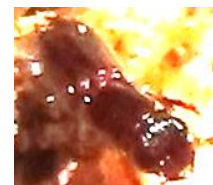
*先月の里山部会での環境点検で、カシナガが朽虫(以下カシナガ)による穿孔木(穴があいた木)が多いと報告しましたが、先日、コナラのナラ枯れ木が見つかり伐採。

9月の点検時、ナラ枯れは確認できませんでしたが短期間で葉が赤褐色に変色したと思われる。この日はナラ枯れ木(根本の直径60㍉、樹高25㍎)の穿孔状況(周囲約100孔)を確認し伐採。穿孔がない樹幹は玉切り(薪用)・シイタク榎木と、穿孔がある根本の感染樹幹は燻製駆除を行

いました。伐採作業中にカシナガ成虫(体長約5㍉)が何匹か飛立って行きました。

*ナラ枯れ(ナラカシ類萎凋病)のメカニズムは難解で勉強中ですが、健康な樹木の樹幹では根から吸い上げる水は辺材を通り枝葉に上がりますが、梅雨明け位からカシナガの成虫が多数穿孔し菌糸を蔓延させ、樹木の防御作用で辺材が黒褐色化し通水が停止し枯れ葉現象が起こり枯れて行きます。*カシナガの成虫は病原菌(食用菌・萎凋病菌)を体内に保持し穿孔周囲に感染させ、食用菌を食用とし繁殖活動を行い、翌年

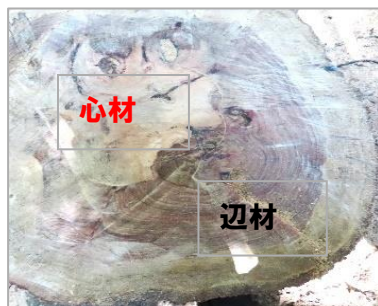
の梅雨時期に成虫となり、他の大径木に穿孔し繁殖活動を繰り返します。萎凋病菌は樹を枯らす。フィールド内は大径木への穿孔が多く、駆除方法等試行錯誤しながら、なぜ大径木に穿孔が多いのか?防除方法は?里山再生などなど難解で、防除に向け勉強と防除活動をしていきたい。*11月里山部会ではフィールド内の竹林の整備と、切り出した竹の竹炭加工を予定しております。興味のある会員の方、協働参加してみませんか。



捕獲したカシナガ(約5㍉)



大量の木くず(フラス)を出しているコナラ



辺材部黒褐色となり通水停止、枯れる。



ナラ枯れ感染のコナラを伐採

視察ツアー参加者募集のご案内

倶楽部では新しく入会された方が増えており、新旧会員の親睦を深めるため視察ツアーを開催することとなりました。今回のツアー内容は、木育に力を入れている木工所や森林整備をおこなっている団体のフィールドに出向き、それぞれの活動内容や主旨を伺うことによってクラフト部会の新たな方向性、里山部会や環境教育の活動の参考になればと思い学びの企画を用意しました。視察のほか美味しいランチや地元産品のお買い物など貸し切りバスをご用意いたしますので、楽しいひと時を交流しながら楽しみましょう。

=開催日：12月15日(日) = ~雨天決行~

場 所：県北方面 (予定)

参加費：3,000円 (予定) バス交通費、ランチ込

集 合：8:30 広島駅

定 員：20名

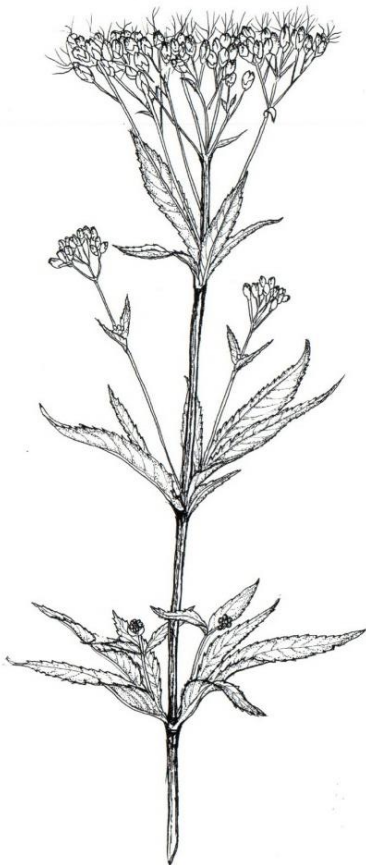
参加を希望される方は事務局までご連絡ください

【メール】 info@morimate-ch.com

【電話】 090-6419-7531



今ひと枝 原田 澄



フジバカマ (藤袴)

<キク科・ヒヨドリバナ属>

中国原産の多年草。古い時代に薬草として渡来したものが野生化した帰化植物といわれている。秋の七草のひとつ。茎は1拵ほどになり、葉は対生し長さ8~13拵。やや厚く光沢があり3深裂する。花は枝先がいくつにも分かれ、淡紅紫色を帯びた白色の小さな頭花を密に付け、晩夏から秋にかけて咲く。葉にはクマリンが含まれ乾燥させると桜餅の香りがする。野生のフジバカマは、河川改修などにより、いまや絶滅に瀕する植物のひとつ。近縁種が庭園や庭に植栽されている。・・・▼友人が大切に育てているフジバカマに今年も、旅をする蝶アサギマダラが飛来。偶然にもその場に居合わせたのは幸運だった。▼アサギマダラは台湾や東南アジアから日本にやってくる。空の上からフジバカマの蜜をめがけて降りてくる。アサギマダラとフジバカマの関係は奥が深く、知るほどに興味深い。今年は暑さのためコースを変えたとも聞く。▼叡智に富んだ自然界。そこに生かされている私たち。秋の夜長、虫の音を聞き、オリオンの星を見上げ、遠くに思いを馳せるのもまた、よきかな。 ~佐伯区湯来町 2024・10~



—11月— 活動の予定



倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

- 日時：11月10日(日)
- 場所：白木小川フィールド：里山整備
竹林整備・竹炭材加工・萌芽保護
- 持参品：持参品：水筒・山の道具
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp*メール希望。



【第3回もりメイトキッズ】開催 とき：12月1日(日)

森の恵みをいただこう！
薪わり&クッキング



お知り合い、子ども、お孫さんと
ぜひ一緒にいかがですか！！

【定例活動あんない】

- 日時：11月9日(土)
- 場所：松ヶ原キッズフィールド：コナラの伐倒、燻製の試作、チップ材の製作。
～環境教育について興味ある方は
お気軽にご参加ください～
- 連絡先：佐々木
sasaki@morimate-ch.com

環研部会

「自分が作りたいクラフト作品」お手伝いします！

～参加お待ちしております～

- 9日、16日(各土曜)鹿ヶ谷で作業
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



メール便への投稿待ってます!!



気付きや感動した体験。「こんな事やっています」などの情報提供。お薦め本など、なんでも welcome。ハンドルネームで！

to-po@morimate-ch.com

12月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：11月27日(水) 18:00
- 場所：袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
【口座名】：トクヒ モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com